

令和3年度 公立高等学校入学者選抜

学力検査問題

国 語

注 意

- 1 検査係員の指示があるまで、問題冊子と解答用紙に手をふれてはいけません。
- 2 問題は【問一】から【問五】まであり、問題冊子の2～9ページに印刷されています。10ページには、下書き用の枠があります。
- 3 問題冊子とは別に、解答用紙があります。解答は、すべて解答用紙の の中に書き入れなさい。
- 4 解答用紙にマスがある場合は、句読点、カギ括弧（「や」）などもそれぞれ一字と数えて書きなさい。
- 5 下書きが必要なときは、問題冊子のあいているところ、または10ページの下書き用の枠を使いなさい。

【問一】 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

文章を書くということは文を書くことです。文章を書く人は誰でも、一度に文章全体を書くことはできず、地道に一文一文書きつづけることしかできません。段落を作ることにしても、文を書いている合間に、改行一字下げの記号をときどき入れるにすぎません。私たちが文章を書くときには、文しか書いていないのです。一冊の本を書き上げる場合でも、何百、何千という文をひたすら書きつづける以外ありません。執筆過程のなかで、その都度その場の文脈を考えながら一文一文生みだし、それを次から次へと継ぎ足しながら文章という一本の線を紡いでいくこと。これが文章を書くことです。このように、その場の文脈に合わせて即興的に考えながら文を継ぎ足していくポトムアップ式の活動を「流れ」と呼ぶことにしましょう。

一方、文章を書く人なら誰でも、アウトラインという名の文章構成の設計図を持っています。用意周到な書き手であれば、かなりしっかりとしたアウトラインを作り、それにしたがって文章を書いていくようにするでしょう。そうしたトップダウン式の活動を「構え」と呼ぶことにしましょう。

「流れ」と「構え」とは、文章論の大家である林四郎氏の独創的な考え方を参考にしたものです(林一九七三/二〇一三)。林氏は次のように語ります(林一九七三、一五〜一六頁)。

文章が、次々と関係を作って伸びていく、この姿を、わたくしたちの言語的思考の投影だと見て、この思考活動を推し進めていく力に、わたしは、基本的に二種類の相反する力を見出す。それは、つながろうとする力と、離れようとする力である。わたくしたちの思考場面に、一つの情報が送られてくると、それ以後は、その情報が呼び起こす近接情報へ移ろうとする力が主に働いて、あることはから次のことばが選ばれるが、わたくしたちがものを考えるということは、多くの場合、何か外からの刺激を受けて、余儀なく次へ移っていくのであって、ただ無抵抗に意識表面をすべっていくのとはちがう。そこで、なるべく近接した情報へ安易に移行しようとする力を制して、随時、必要がもたらす新情報が飛びこんで来る。近接情報へ移行しようとする力は、つながろうとする力であり、新情報を迎えようとする力は、離れようとする力である。(中略) 一応離れるが、やがてつながるべく意図されて離れるのが、言語表現における離れ方の特徴である。近接情報への無抵抗な移行を「流れ」と称したのに対して、このように意図的に離れることは「構え」と呼びたい。むやみに離れるのではなく、構えて離れるからである。

つまり、先行文脈から自然に **A** とする力を「流れ」、**B** の導入によって **C** とする力を「構え」と呼びます。林氏の議論では、文の組み立てに関わる比較的小さい

- (1) 文章中の~~~~線部のよみがなを、ひらがなで書きなさい。
 ① 推 ② 余儀 ③ 安易
 ④ 随時 ⑤ 柔軟 ⑥ 営

(2) —線部①「ない」と同じ品詞を含むものを、次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア かぎりない イ 欲しくない
 ウ 知らない エ ペンがない

(3) この文章は、「流れ」と「構え」について論じられている。「流れ」と「構え」について、筆者はどう説明しているか。次のようにまとめるとき、**a**、**b** に当てはまる最も適切な言葉を、本文中からそれぞれ指定された字数で抜き出して書きなさい。

文脈を意識して **a**(三字) に考えながら文を追加していくポトムアップ式の活動を「流れ」とし、文章全体の **b**(三字) に沿って書いていくトップダウン式の活動を「構え」とする。

(4) **A**、**D** に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア	つながろう	近接情報
イ	移行しよう	新情報
ウ	移行しよう	近接情報
エ	つながろう	離れよう
ア	意図的	迎えよう
イ	無目的	離れよう
ウ	意図的	近接情報
エ	意図的	離れよう
ア	つながろう	新情報
イ	意図的	近接情報
ウ	意図的	離れよう
エ	意図的	新情報

(5) —線部②とあるが、どのようなことか。七十字以上八十字以内で書きなさい。

要素が中心ですが、本書では、段落のなかの文という大きい単位を、「流れ」と「構え」という観点から議論したいと思います。

「流れ」と「構え」はつねに拮抗する存在です。「流れ」が無目的に走りだそうすると、「構え」がそれにストップをかけます。そのまま書きつづけてしまうと、あらぬ方向に文章が展開していつてしまうからです。一方、「構え」が「流れ」を無理に押さえつけようとすると、「流れ」がそれに反発します。予定していた「構え」とおりに書けないのは、設計図としての「構え」にそもそも無理があるためであり、「構え」を「流れ」に合わせて修正していくことで、自然な流れの文章ができあがっていくからです。このように、文章とは、「構え」と「流れ」の絶え間ない戦いの過程であり、両者の調整の歴史です。書き手によるそうした調整の歴史が文字として残り、それを読み手が文章として読んで理解していくのです。そう考えると、段落は「流れ」と「構え」が出会い、調整をする場だということになるでしょう。ボトムアップ式の活動とトップダウン式の作業がクロスする交差点なのです。

「魚の目」と「鳥の目」という比喩があります。「魚の目」というのは、海のなかを泳ぐ魚から見える水中の世界。潮の動きや外敵の存在など、周囲の状況を感じとりながら泳ぎます。「鳥の目」というのは、海のはるか上空から見える空中の世界。魚がどの方向に進んでいるのかを上空からモニターします。海のはるか上空から泳ぐ魚が目的にむかって適切に進むには、「魚の目」と「鳥の目」を組み合わせて考えることが大事です。「魚の目」は「流れ」、「鳥の目」は「構え」です。私たちが文章を書いたり読んだりするとき、「魚の目」と「鳥の目」を行ったり来たりします。そうすることで、私たちの言語活動はより質の高いものになるのです。

文章を書くことを車の運転になぞらえてみましょう。私たちが車を運転するとき、カーナビゲーション・システム、いわゆるカーナビを参考にします。カーナビのディスプレイは、空から見る「鳥の目」で私たちの行くべき道を教えてくれます。しかし、ハンドルを握る私たちは、カーナビの言うことに従うとは限りません。道路の渋滞状況や工事状況、スクールゾーンなどの時間帯、道幅の広さや見通しのよさ、さらには信号の変わるタイミングなど、「魚の目」で周囲の状況を見ながら、まさに「流れ」に合わせて進む道を柔軟に変えていきます。ときには「鳥の目」であるカーナビの選択を尊重し、ときには「魚の目」である自分の状況判断を優先し、調整しながら運転していくわけです。このように「鳥の目」と「魚の目」、二つの目を調整しながら自らの判断で運転していくさまは、設計図を参考にしながらも、現場の判断で選択を決めていくという文章を書く営みと共通するものです。段落というものを、あらかじめ立てていた計画と、執筆過程で次々に思いつく即興との融合と見ることで、文章執筆の考え方は豊かになるでしょう。

(石黒圭「段落論 日本語の「わかりやすさ」の決め手」／光文社新書)

(6) 筆者の論じ方の工夫を、次のノートのようにまとめた。あとの i、ii に答えなさい。

ノート

○林氏の言葉を引用することで、**c** している。
○「流れ」と「構え」について、「魚の目」と「鳥の目」の比喩を用いて説明している。
○車の運転に **d**(四字) **e**(八字) **e**(八字) という文章を調整しながら自らの判断で書く行為を説明している。
○全体を通して、二つの事柄を対比しながら論じている。

i ノートの **c** に当てはまる最も適切な言葉を、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。
ア 読者に問題提起
イ 筆者の考えを補強
ウ 話題を転換
エ 対照的な考えを提示
ii ノートの **d**、**e** に当てはまる最も適切な言葉を、本文中からそれぞれ指定された字数で抜き出して書きなさい。

(7) 筆者の論じ方の工夫の一つである対比を用いて、「相手に思いを伝えるときに、次のAまたはBの手段のどちらを使うか」について、自分の考えを書くことになった。あなたの考えを、あとの〈条件1〉～〈条件3〉と《注意》に従って書きなさい。

A 直接会って口頭で伝える
B 手紙やメールなどの文章で伝える

〈条件1〉AとBそれぞれの長所または短所を明らかにして、対比させながら書くこと。

〈条件2〉〈条件1〉に基づいてAまたはBのどちらを使うか場面を示して書くこと。

〈条件3〉七十文字以上九十文字以内で書くこと。

《注意》「直接会って口頭で伝える」をA、「手紙やメールなどの文章で伝える」をBとし、AとBの記号を使って書くこと。

※(5)と(7)の下書き用の枠は、10ページにあります。解答は、解答用紙に書きなさい。

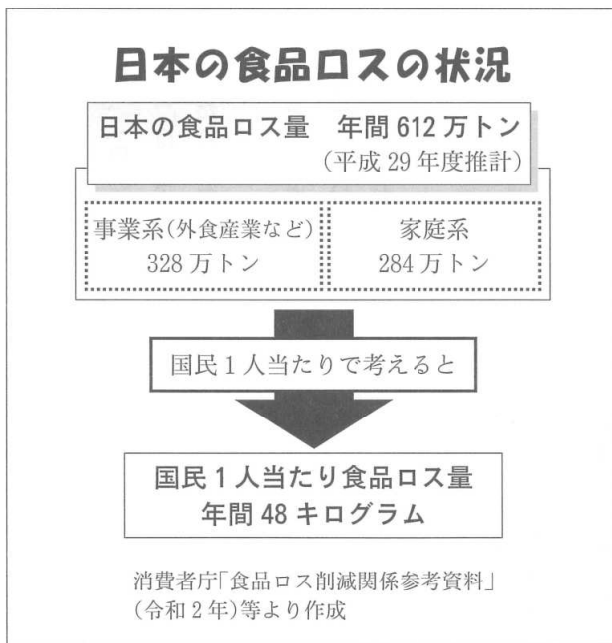
【問二】 国語の学習で、体験や調査から考えたことについて、スピーチをすることになった。青木さんは、山川さんにスピーチの練習を聞いてもらい、アドバイスをもらうことにした。次は、**I** 青木さんの構想メモ、**II** 提示資料、**III** 青木さんのスピーチ内容、**IV** 山川さんの聞き取りメモ、**V** 追加資料である。これらを読んで、下の各問いに答えなさい。

I 青木さんの構想メモ

【考えたこと】 *食品ロスを生まない工夫が必要			
順序	時間(秒)	内容	工夫したいこと
1	15	・ 話題提示	
2	60	・ きっかけ ・ 調べたこと (食品ロスやたい肥作り)	・ 身近なことから。 ・ 資料を提示する。
3	80	・ 体験の様子 ・ わかったこと ・ 考えたこと	・ 混ぜているときの 写真を見せる。 ・ たい肥の写真を見せる。 ・ 感じたことが伝わるように間を取る。 ・ 要点的に話す。
4	15	・ あいさつ	

* (注) 食品ロス=本来食べられるのに捨てられる食品

II 提示資料



III 青木さんのスピーチ内容

私は、生ごみでたい肥作りにチャレンジしました。その体験から考えたことを話します。

きっかけは、近くのスーパーです。近くのスーパーでは、夕方にお総菜の割引きを行います。聞いてみると、少しでも「食品ロス」を出さないための工夫だと店員さんがおっしゃっていました。

食品ロスとは何か、調べてみると、本来食べられるのに捨てられる食品のことでした。こちらの資料を見てください。(II を見せる) 日本では、六百十二万トンの食品ロスが発生しているとわかりました。それ以来、私の家でも食品ロスを出さないために「計画的に買う」「食べる分だけ作る」などの工夫をするようになりました。しかし、まとめ買いをした結果、使いきれなかったり、その日の体調で食べきれなかったりすることなどがあり、

- (1)
- I** の構想メモの特徴として適切なものを、次のア～エから二つ選び、記号を書きなさい。
- ア 時間配分、内容、相手を意識した話し方をしようとしている。
- イ 説明する上で効果的な写真と資料をそれぞれ一つずつ使い、提示しようとしている。
- ウ アンケート結果を使って、話題提示をしようとしている。
- エ 調べたことと考えたことを区別して、順序や構成を工夫している。

どうしても残ってしまうことがありました。そこで、残ったものをなんとかできないか考え、インターネットで調べて見つけた、たい肥作りをしてみようと思いました。実際に段ボール箱を容器として使いました。段ボール箱の中に土や米ぬかと一緒に生ごみを入れ、空気に触れるようかき混ぜます。(写真を見せる) 毎日かき混ぜたり虫が来ないように防いだりと、思ったよりも手間がかかりました。作ったたい肥は、プランターや庭の畑にまきました。

たい肥作りでは、少しずつ生ごみの様子が変わることがおもしろかったです。(写真を見せる) できたたい肥を見たとき、私は、食べ物はどうやって土になり、そこでまた野菜ができ、私たちの暮らしの中で循環していくのだなということを実感しました。つまり、私がわかったことは、残った食品は、ごみではなく大切な資源です。ごみとしてただ捨てるのではなく、たい肥として生かすことは、我が家の食品ロスの課題解決につながる方法だと思いました。

食品ロスは、解決したい社会問題の一つです。食品ロスをゼロにすることは、無理だという人もいるかもしれません。しかし、自分たちができることで、少しでも解決することできたらと思います。買うとき、調理するとき、食するとき、残したときなど、その時々で食品ロスを生まない工夫はあると思います。私はこれからも自分ができることを考えていきたいと思いました。

これで、私の発表を終わります。ありがとうございました。

Ⅳ 山川さんの聞き取りメモ

主な内容	意見や根拠の適切さ 発表の工夫 ○…よい点 △…気になる点
・たい肥作り	
・近くのスーパー ・食品ロスとは ・食品ロスを出さない	○取り組みのきっかけがわかりやすい。 △612万トンという量の多さがもっと伝わるようにしたい。
・たい肥作り ・毎日かき混ぜる ・食品は資源	○写真があり、わかりやすい。 ○実体験で説得力がある。 △気になる言葉の使い方があった。
・少しでも減らしたい	

Ⅴ 追加資料

世界の食料支援の状況

国連の支援食料 年間 380 万トン
世界 83 カ国へ(2017年)

国連WFP(世界食糧計画)「数字で見る
国連WFP 2019年」(2020年)より作成

(2) 青木さんは、自分と異なる考えをもつ聞き手からの反論を想定している。それがわかる言葉はどこか。Ⅲから一文でさがし、最初の七字を書きなさい。

(3) Ⅳの内容から、山川さんがどのようなことに気をつけて聞いていると言えるか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 青木さんの発表を自分の考えと比較し、共通点をさがしながら聞いている。

イ 青木さんの発表を、表現の仕方や効果に注目し、評価しながら聞いている。

ウ 青木さんがどのような気持ちで発表をしようとしているか、想像しながら聞いている。

エ 青木さんの発表を聞き終わった後で、発表の仕方でのよい点だけを伝えようとして聞いている。

(4) 青木さんは、山川さんから、Ⅳの〰線部のような指摘を受けた。そこで、スピーチの録画を見返し、Ⅲの〰線部を直す必要があると気づいた。「資源です」の部分、実際に話すように書き直しなさい。

(5) 青木さんは、山川さんから、Ⅳの〰線部のような指摘を受けた。そこで、Ⅱに加えてⅤの資料を用いて、Ⅲの〰線部を、日本の食品ロス量がいかに多いかが伝わるように言い換えることにした。あなたならどのように話すか。次の〈条件1〉～〈条件3〉と《注意》に従って書きなさい。

〈条件1〉「日本では、」に続けて書くこと。

〈条件2〉Ⅱ及びⅤそれぞれにある数値を用いて書くこと。

〈条件3〉六十文字以上八十文字以内で、実際に話すように書くこと。

《注意》数字の書き方は、「二五」または「二五」のどちらでもよい。

※(5)の下書き用の枠は、10ページにあります。

解答は、解答用紙に書きなさい。

【問三】 次の①～③から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ抜き出して書き、同じ読みの正しい漢字を借書でそれぞれ書きなさい。

- ① 生徒総会で、目標の承認、予算の決議、生徒会基約の改正などを行う。
- ② この法律が主に保護の対象としているものは自然の風景地だが、生物多様性の保善にも役に立っている。
- ③ 彼は、地域経済の活性化が重要であることを提言した書物を現した。

【問四】 次に示すのは、文章Ⅰが『徒然草』の一節、文章Ⅱが『孔子家語』の一節を書き下し文に改めたものである。これらを読んで、下の各問いに答えなさい。

文章Ⅰ

~~~~~  
① 道に携はる人、あらぬ道の筵に臨みて、「あはれ、わが道ならましかば、かくよそに一つの専門の道 専門外の場に出席して 自分に専門の道であつたら こんなに傍観

見侍らしものを」と言ひ、心にも思へる事、常のことなれど、よにわろく覚ゆるなり。知らぬ道のしますまごのに まことによくないことと思われる

うらやましく覚えば、「あなうらやまし。などか習はざりけん」と言ひてありなん。 ああ なせ習わなかつたのらうか

我が智をとり出でて人に争ふは、角あるものの角を傾け、牙あるものの牙を咬み出だす類 賢いこと

なり。

人としては善にほこらず、物と争はざるを徳とす。他に勝ることのあるは、大きな失なり。 善行を 人 美点 短所

品の高さにて、才芸のすぐれたるにても、先祖の誉にても、人に勝れりと思へる人は、 しな 家柄や身分 ほまれ 名譽

(1) 文章Ⅰの~~~~線部の言葉を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

- ① いちだう ② わざはひ

(2) ———線部①「よにわろく覚ゆるなり」と筆者が述べている行いについて、次の□のようにとまとめた。

□に当てはまる最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

自分の専門外の場に出席したときに、  
□ ような行い。

- ア 自分の専門分野の力が誇れず悔しがる  
イ 自分の専門分野の知識を誇って満足する  
ウ 自分の専門分野の経験が少なく不満に思う  
エ 自分の専門分野の技術を自慢して得意になる



たとひ言葉に出でてこそ言はねども、内心にそこばくの咎あり。慎みてこれを忘るべし。  
多くの 欠点 のがよい

痴にも見え、人にも言ひ消たれ、禍をも招くは、ただ、この慢心なり。一道にも誠に長じぬる  
非難され 本當にすぐれた

人は、自ら明らかにその非を知る故に、志常に満たずして、終に物に伐る事なし。  
自分の欠点 向上心 人 自慢する

(本文は「新編日本古典文学全集」による 問題作成上一部省略した箇所がある)

文章Ⅱ

子路進みて曰く、敢て問ふ、満を持するに道有りや、と。子曰く、聡明叡智なれば、之を  
満ちた状態を保つ方法はありませんか 賢く知恵がすぐれていると

守るに愚を以てし、功天下を被はば、之を守るに謙を以てし、勇力世に振はば、之を守るに  
④ 愚かな振りをし 功績が天下を覆い尽くすほどならば 謙讓を行い ⑤ 強い力が世の中を揺り動かすほどならば

怯を以てし、富四海を有たば、之を守るに謙を以てす。此れ所謂之を損して又之を損するの道  
臆病な振りをし 豊かな財産が天下を保持するほどならば 謙虚を心がける 満ちた状態を保つにはそれを抑えて、更に

なり、と。  
抑えるという方法

(本文は「新釈漢文大系」による 問題作成上一部省略した箇所がある)

\* (注) 子路 孔子の弟子 子 孔子

(3) — 線部②「慢心」の具体的な内容を、「思っている心」  
 につながるように、文章Ⅰの本文中から六字で抜き  
 出して書きなさい。

(4) — 線部③と筆者が述べているのは、人のどのような  
 姿勢が理想的であると考えているからか。その考えを  
 含む一文を文章Ⅰの本文中から十五字以上二十五字  
 以内でさがし、最初の五字を書きなさい。

(5) — 線部④は、「功被天下、守之以讓」を書き下し文  
 に改めたものである。返り点を付けなさい。

(6) — 線部⑤に用いられている表現方法として最も  
 適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書き  
 なさい。

- ア 反復
- イ 体言止め
- ウ 係り結び
- エ 対句

(7) 文章Ⅰと文章Ⅱに表されている考え方に関連のある  
 最も適切な言葉を、次のア～オから一つ選び、記号を  
 書きなさい。

- ア 親しき仲にも礼儀あり
- イ 針の穴から天をのぞく
- ウ 虎の威を借る狐
- エ 木に縁りて魚を求む
- オ 能ある鷹は爪を隠す

【問五】 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

「俺」は、かつて高校野球全国大会にピッチャーとして出場し、優勝したことがあった。その時、右肘を故障したことによってプロ野球選手になることができなかった。現在は甲子園球場のグラウンドキーパーとして働いている。高校の時のチームメイトだった才藤に、野球人生に一区切りついていないんだと指摘されたことで、甲子園に何かを置き忘れたまま、ここまで来てしまっているのかもしれないという思いが、日に日に強くなっていった。夏の甲子園が開幕し、グラウンド整備をしているとき、どんなに劣勢におちいても、ひたむきな姿勢でいる、一回戦で敗退した横川という投手が気になった。

日本一になった投手が、一回戦負けのピッチャーをうらやむというのも、なんとも皮肉な話だった。しかし、こうしてグラウンドキーパーとして整備をしている今も、俺の魂だけはあのマウンドから降りられずにいるのだ。だから、心と体が一致しない違和感がぬぐいきれない。まるで地縛霊みたいやなと思うと、ちよつと笑えた。

体を機械的に動かして、トンボを押し、スパイクで荒れた箇所を均していく。なんとか気持ちい落ちつけようとはしたのだが、千々に乱れる俺の心をそのまま映すかのように、もうもうと土煙が舞い上がった。

早く水をまいてほしい。グラウンドにも、俺の心にも。セツジツにそう願った。

横川がダウンのキャッチボールを終え、一人おかれて甲子園の土を拾いはじめた。まだ、泣いていた。ぐずぐずと鼻をならしながら、両手で土をかき集めている。

そういえば、俺は一度も甲子園の土を持ち帰ったことはなかったと思ひ至る。

一年生のときは、控えピッチャーだった。大阪府予選で敗れた。

二年生でエースナンバーを背負ったが、甲子園の準々決勝で敗退した。来年またこの場所へ帰ってくると誓った。

そして、三年生。野球人生がそのまま終わってしまうかもしれないという不安を押し隠し、逃げるように甲子園を立ち去った。

でも、才藤の言うとおり、実は終わってなどいなかったのだ。

俺は一塁付近の土を均していた。トンボの先には、黒い土が小さく山になっていた。

そのひとかたまりを押し、運んでいく。負けた球児たちが多くの土を持っていったため、ベンチ前の凹んでいる場所に継ぎ足す必要があった。

泣いている横川が、いまだにしゃがみこんでいた。その姿を、大人たちが狙う。報道陣のピブスをつけたカメラマンがムラがり、グラウンドに這いつくばってまで、うつむき、泣きつづける横川の表情を撮りつづける。

もう、ええやろ。じゅうぶん撮ったやろ。いい加減、終わらせてやれや。

トンボの柄を報道陣のあいだにねじこむようにして、整備の時間であることをアピールした。

「ありがとうございます！」横川が顔をあげた。涙に濡れた頬が、少し痛々しくもあり、しかしまぶしく輝いて見えた。

とっさに帽子を下げた。軽くうなずいて、立ち去った。

自分が負かした相手校の選手にも抱いたことのなかった感情がわいてきた。うらやましい、という気持ちが消え、ねぎらいの言葉が次々と心に浮かんできたのだ。

(1) 文章中の~~~~線部を漢字に直して、楷書で書きなさい。

① セツジツ ② ムラ

(2) —線部①の「千々に乱れる俺の心」を投影して表現しているものは何か。十字以上十五字以内で書きなさい。

(3) —線部②の理由として最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 試合に負け、泣いて涙で濡れた横川の顔に、真夏の太陽の光が当たって反射して見えたから。

イ 試合に負けた悲しさを表に出さずに感謝の言葉を口にする横川の態度が印象的だったから。

ウ 試合に負けた悔しさに共感しながらも、自分とは違う横川の姿を美しいと感じたから。

エ 悔しい気持ちがあるはずなのに、他人に気を遣う横川の姿にいらだちを感じたから。

(4) —線部③「甲子園球場のざわめきが、一気によみがえった」ことから、「俺」が何に気づいたことがわかるか。それがわかる一文を本文中からさがし、最初の七字を書きなさい。

(5) 次の□は、中村さんと石井さんが、この文章の表現の特徴について話し合っている様子である。

中村 —線部の心の内の言葉は、水を求めていることから、「俺」の心が□の様子であることがわかるね。

石井 さらに、倒置法で表現されていることで、求めていることが、より強調されているね。



ご苦勞様、よう戦ったな。残念やったけど、お前には次があるで。次は、何がなんでも自分自身のために投げるんやぞ。

マネージャーだろうか、学校の制服姿の男子が横川を立たせ、撤収をうながした。その記録員も目を真っ赤にして泣いていた。

突然、後ろから肩をたたかれた。島さんだった。てっきり勝手なことをして叱られると思ったのだが、額に汗を浮かべた島さんは、白い歯を見せて笑った。

「ようやく周りが見えてくるようになったんちゃう？」

「えっ……？」

「お前は、うつむきすぎやで。顔を上げてみい」

そう言って、島さんが周囲を見渡すそぶりを見せた。

「今、この場に、四万人以上おる。でも、だーれもお前のことなんて見てへんやろ。いっそのこと清々しくなるくらいにな」

俺もおそろおそろ顔を上げた。

ちようど、負けた東東京代表のメンバーがベンチを去るところだった。一人一人、帽子を取りながらグラウンドに向けて礼をし、裏手に引きあげていく。観客たちの視線は、そちらに集中していた。口々にねぎらいの言葉を叫び、拍手で敗戦校を送り出す。

たしかに、こちらに注意を払っている人は見受けられなかった。

「いつか、ここにいる全員、自分のほうに振り向かせたる——そう決意するんやったら、俺は応援する。もちろん、このあったかい拍手が生まれる現場を裏から支えたいんやったら、びしばし鍛えてやる」

去っていく横川の背番号1を見送った。甲子園球場のざわめきが、一気によみがえった。相変わらず、真夏の太陽は、容赦なく降りそそぐ。何もさえぎるものがない空を見上げた。

あきれほど、晴れ渡っていた。俺は、まだ何にでもなれるんやということに、ようやく気がついた。

俺は、まだ、泣かない。泣けない。

戦いが終わっていないから、泣けないのだ。

「ありがとございませう」島さんに頭を下げた。

「b」視界が少し晴れた気がした。自分ならピッチャーのよろこびも、悲しみもよく見える。そして、ピッチャーを支える野手やマネージャーの努力もはっきり見渡せる位置にいる。

片方のチームが笑い、片方が泣く——その残酷ともとれる舞台を整える。プロ選手や高校球児たちを、足元から支えていく。

「さあ、仕事やで」

島さんの言葉にうなずいた。一滴も水分の残されていない俺の心の上に、いつか恵みの雨は降ってくるのだろうか？ ④ 抜けるように青い空へ問いかけながら、めいっばい目深にかぶっていた帽子のつばを、人差し指の先でそっと押し上げた。

\*(注) トンボ土をならすための道具

ダウン体の疲労を回復させることを目的として行われる運動

(朝倉宏景「雨を待つ」)

中村 その後、見上げた空の情景描写にも、「俺」の心情が暗に示されているようだ。

石井 例えば、本文中にある「B(十二字)」は、「俺」の今後の可能性を表しているような空の描写だね。

中村 「あきれほど、晴れ渡っていた」という描写にも表現されていると思うな。

石井 線部の表現から問いかけの表現に変わった「C」の一文には、「俺」の心情の変化が表れているそうだな。

中村 題名の「雨を待つ」につながる描写だね。

i A に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

ii B に当てはまる最も適切な言葉を、本文中から指定された字数で抜き出して書きなさい。

iii C に当てはまる一文を本文中からさがし、最初の五字を書きなさい。

(6) 中村さんは、——線部④に表れている「俺」の気持ちを考えるために、関係すると思われる文から読み取ったことを付せんに書いた。付せんに踏まえて、線部④に表れている「俺」の気持ちを五十文字以上七十文字以内で書きなさい。

付せん

-----線部 a の「うつむきすぎ」という言葉から、「俺」がいつも下を向いている様子がわかる。

-----線部 b の「視界が少し晴れた」というところから、「俺」の見渡せる範囲が広がり、将来への見通しをもち始めた様子がわかる。

※(6)の下書き用の枠は、10 ページにあります。

解答は、解答用紙に書きなさい。

